

校長室だより(No.41)

令和4年1月24日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

家庭での対話をお願いします

3学期に入り、新型コロナウイルス感染症の感染者がここ丹波地域においても多くなりました。毎日のように全国の感染者数は、最多を更新しています。身近な人のなかにも新型コロナウイルス感染症に感染されたり、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として連絡があったり、検査を受けられた方もあると思います。

今後は、学校関係者(児童及び教職員)にも感染者が出る可能性はあると考えております。一昨年度から、このような状況も視野におきまして、感染者の「人権」を守ることを目的とした指導を学校でも行っておりますが、以下のことにつきまして、ご家庭でも十分な対話(お子さんとの話し合い)をお願いいたします。

1 感染症の感染者を絶対に責めない

誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。また、知らぬ間に、感染させてしまう可能性もあります。季節型インフルエンザ等の感染症に感染した場合、学級で初めに感染した人を責めることはありません。それと同様に、新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、感染させたかもしれないだけで、可能性のある人を絶対に責めたりしないことが大切です。

2 感染者を特定するようなことはしない

このウイルスに限らず感染症の多くは、知らぬ間に、どこかで誰かから感染してしまっています。身のまわりにはたくさんのウイルスが存在し、生きている私たちの細胞内で増えていきます。感染した人は、感染症と向き合わなければならないだけでなく、多くの人に感染させてしまったのではないかと、悩んでしまう人も多くいます。今、私たちができることは、感染してしまった人が、少しでも早く治ることを願うことであって、いろいろな詮索をしないことが大切です。

3 学校や地域がいつも安心できる場になるように

新型コロナウイルス感染症の不安の一つに、自分自身が感染した時に周囲から差別されたり、非難されたりするのではないかとということがあります。そのような不安がない学校や地域を実現していくことこそ大切なことです。いま、すべての人が安心して誰にでも悩みを相談できること。たとえ感染しても、誰も責められることはないという安全な場所(学校、地域)を作っていくことが必要だと思います。

